

## 平成 22 年度県外施設見学研修会の開催

平成 22 年度の県外施設見学研修会は、平成 22 年 9 月 10 日～11 日にかけて鳥取県の王子製紙株式会社米子工場と有限会社山陰クリエートを訪問しました。

参加者は事務局 2 名を含めて 27 名でした。

この両日は、今夏の猛暑の名残が色濃く残る暑い日でした。

### 第 1 日目 (10 日)

朝、神戸集合の参加者を乗せたバスが出発し、その後、姫路に立ち寄り、姫路集合の参加者を乗せて、一路、鳥取県境港へ向けて走り出しました。鳥取県に入ってまもなく山陰の象徴である“大山”の偉容を車中から眺めました。弓ヶ浜の松林の中を走り、「大漁市場なかうら」で昼食を取りました。

午後は、最初の訪問先である王子製紙株式会社米子工場の見学です。この米子工場は、昭和 27 年に設立され、広大な敷地でチップから紙までの一貫製造をされています。主要製品としては塗工紙、高級白板紙、キャスコート紙等で、世界最高の技術水準を誇る高級塗工紙の専用工場です。ご担当の方からは各行程の丁寧なご説明をいただき、また、抄紙工程、塗工程の設備見学をいたしました。特に、周辺環境の保全については、排水処理に気をつけているとのことでした。



【王子製紙(株)米子工場前】

更には、この会社は、木材原料の確保の

観点から、世界各地で植林を行っておられるともお聞きいたしました。この植林事業は、今、深刻さを増しつつあります地球温暖化への強力な防止対策の一つであると思いました。

午後の見学を終えて、一部の人は、この境港で有名な「鬼太郎ロード」を散策しました。

### 第 2 日目 (11 日)

午前中に有限会社山陰クリエートを訪問しました。この会社は鳥取県産業廃棄物協会の越生会長の会社で、昭和 58 年に設立されています。廃プラスチック類のリサイクルを中心とした事業展開がされており、RPF 燃料、廃プラスチック素材からの木材である“エコマウッド”の製造、更には、発泡スチロール、農業用ビニール、生ゴミのリサイクル等の事業をされています。この日訪問した工場は、このうち RPF 燃料、“エコマウッド”の製造工場、これらの製造工程の説明を受けるとともに、見学をいたしました。

最初に、越生会長からの資源循環事業経営にかける熱心なお話し、また、それぞれの部門の責任者をされている二人の息子さんからは、各製造工程の説明と各工程の見学時の説明を細かい点に渡って受けました。



【(有)山陰クリエート工場前】

エコマウッドは、平成 17 年度に(財)ク

リーンジャパンセンター会長賞を受賞されており、当会社を象徴する製品です。製造工程は、廃プラスチック類 → 破碎・ブレンド → 熔融・成型 → 製品で、工程的には複雑ではないですが、それぞれの工程でノウハウがぎっしりあるようでした。また、ここで製造のRPF燃料は昨日見学した王子製紙株式会社米子工場の燃料になっているとのことでした。



【(有)山陰クリエートのエコマウッド製品】

会社訪問の後は、神戸、姫路方面へと帰路につきました。途中、倉吉の清水庵で昼食を取りましたが、倉吉白壁土蔵群は時間がなくて、あまり見ることはできませんでした。それから、日本を代表する地質遺産である鳥取砂丘に立ち寄り、途中、あまり渋滞もなく、ほぼ予定どおり、無事に姫路、神戸へ到着しました。